

(証券コード 4082)
2020年6月2日

株 主 各 位

大阪府中央区北浜4丁目4番9号
第一稀元素化学工業株式会社
代表取締役社長 井 上 剛

第64回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第64回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2020年6月23日（火曜日）午後5時30分までに到着するようご返送いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2020年6月24日（水曜日）午前10時（受付開始：午前9時30分）
2. 場 所 大阪市北区大淀中1丁目1番20号
ウェスティンホテル大阪（4階 花梨の間）
（末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください）

3. 会議の目的事項 報告事項

- 第64期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第64期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件
第2号議案 取締役6名選任の件
第3号議案 定款一部変更の件
第4号議案 補欠監査役1名選任の件

以 上

株主総会にご出席の株主様へのお土産は、取り止めとさせていただきます。
何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

第64回定時株主総会についてのご案内

当社は、第64回定時株主総会につきまして、新型コロナウイルスの感染予防および拡大防止のため、株主の皆様の安全を第一に考え、例年よりも縮小した規模で開催させていただくことを決定いたしました。

株主総会会場にご来場の株主様におかれましては、充分なお席が確保できない可能性がございます。万が一お席をご用意できない場合、何卒ご容赦いただきますようお願い申し上げます。

また、株主の皆様におかれましては、可能な限り郵送にて議決権の事前行使をお願い申し上げます。

※ご注意とお願い

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されております。株主総会へご出席される株主様は、株主総会開催日時点での流行状況やご自身の体調をお確かめのうえ、ご来場賜りますようお願い申し上げます。

また、株主総会会場において、マスク着用等、感染予防のための措置を講じる場合がありますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、今後の状況により株主総会の運営に大きな変更が生ずる場合は、下記ウェブサイトにおいてお知らせいたします。

<https://www.dkkk.co.jp/>

- ・株主総会の運営スタッフにおいても、マスクを着用して対応させていただく予定であります。ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。
- ・会場入り口付近など複数個所にアルコール消毒液を設置いたします。会場へのご入場の際には手指の消毒にご協力ください。
- ・体調が悪化し、またご気分がすぐれなくなった等の場合は、受付スタッフまでお申し出ください。

株主の皆様におかれましては、大変ご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎株主総会参考書類、事業報告、連結計算書類及び計算書類の記載すべき事項に修正が生じた場合は、修正後の事項をインターネット上の当社ウェブサイト（アドレス<https://www.dkkk.co.jp/>）に掲載いたしますのでご了承願います。

◎当社は、法令及び定款第15条の規定に基づき、本招集ご通知に際して提供すべき書類のうち、次に掲げる事項をインターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.dkkk.co.jp/>）に掲載しておりますので、本招集ご通知添付書類には記載しておりません。

① 連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」及び「連結注記表」

② 計算書類の「株主資本等変動計算書」及び「個別注記表」

なお、上記①②は監査役及び会計監査人が監査報告を作成するに際し監査した連結計算書類及び計算書類の一部であります。

議決権行使について



当日ご出席による議決権行使

同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。
(午前9時30分より受付を開始いたします。)
また、当日は本招集ご通知をお持ちくださいますようお願い申し上げます。



書面による議決権行使

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、
2020年6月23日（火曜日）午後5時30分までに到着する
ようご返送ください。

※株主でない代理人および同伴の方など、株主以外の方は株主総会にご出席いただけませんので、ご注意ください
いますようお願い申し上げます。

議案及び参考事項

第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要政策のひとつと考え、安定的かつ継続的な配当を基本としております。併せて今後の事業展開に備え経営基盤の強化を図ってまいりたいと存じます。さらに、当社の配当水準、当期の業績を勘案いたしまして、当期の期末配当及びその他の剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたく存じます。

1. 期末配当に関する事項

当期の配当につきましては、期末配当金を1株につき10円とさせていただきます。

(1) 配当財産の種類

金銭といたします。

(2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき金10円 総額242,439,570円

なお、中間配当金として1株当たり10円をお支払いしておりますので、当期の年間配当金は1株当たり20円となります。

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2020年6月25日

2. その他の剰余金の処分に関する事項

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 2,000,000,000円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

別途積立金 2,000,000,000円

第2号議案 取締役6名選任の件

第64回定時株主総会終結の時をもって、取締役大内公夫氏、取締役寺田忠史氏、取締役堀内哲夫氏の3名が任期満了となり、取締役井上剛氏、取締役國部洋氏、取締役岡崎功氏、取締役板橋正幸氏、取締役奥村明氏の5名が辞任いたします。つきましては、取締役6名の選任を付議するものです。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号		氏 名	現在の当社における地位・担当及び重要な兼職の状況
1	再 任	井 上 剛 いの うえ つよし	代表取締役社長
2	再 任	大 内 公 夫 おお うち きみ お	常務取締役 技術本部担当 (株)アイ・ディ・ユー 代表取締役 DKKロジスティクス(株) 代表取締役
3	再 任	國 部 洋 こく ぶ ひろし	常務取締役 事業本部長 山東広垠迪凱凱新材料有限公司 副董事長 山東広垠迪凱凱環保科技有限公司 副董事長 迪凱凱（上海）材料貿易有限公司 董事長 (株)アイ・ディ・ユー 取締役
4	再 任 社 外 独 立	堀 内 哲 夫 ほり うち てつ お	社外取締役 独立役員
5	再 任 社 外 独 立	奥 村 明 おく むら あきら	社外取締役 独立役員
6	新 任 社 外 独 立	永 原 肇 なが はら はじめ	

候補者 番 号	氏 名 (生 年 月 日)	略 歴、 当 社 に お け る 地 位、 担 当 (重 要 な 兼 職 の 状 況)	所有する当社の株式の数
1	井 上 剛 (1960年5月27日生) 在任期間 13年（本総会終結時） 取締役会出席回数 17回／17回（100%）	1986年 4 月 住友電気工業(株)入社 2000年 9 月 当社入社 2005年 3 月 当社設備部長 2007年 6 月 当社取締役設備部長 2008年 6 月 当社取締役企画室長 2010年 3 月 当社専務取締役 2010年 6 月 当社代表取締役社長 （現在に至る） 【取締役候補者とした理由】 同氏は、2010年6月より当社代表取締役社長として当社グループの経営を担っております。この間、いわゆるレアアースショック等、厳しい経営環境により業績が大きく落ち込む時期もありましたが、同氏を中心に経営体制の改革や収益基盤の改善等を推進いたしました。その結果、2017年3月期には連結売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれにおいても過去最高を記録し、2018年6月11日には当社株式が東京証券取引所第2部から第1部へ市場変更の承認がなされました。さらには2019年4月には本社機能と大阪営業所の拠点集約による業務の効率化および本社防災対策の一環として本社を大阪市中心部に移転いたしました。また、並行して中期経営計画「DK-One Project」を策定のうえ、グローバルなレベルでの事業の強化と成長戦略の推進に努めております。今後も同氏のこれまでの豊富な経験と実績を活かし、当社の経営理念を実現のうえ当社および当社グループを含めた持続的な企業価値の向上に貢献できると判断し、引続き取締役候補者いたしました。	777,195株

候補者 番 号	氏 名 (生 年 月 日)	略 歴、 当 社 に お け る 地 位、 担 当 (重 要 な 兼 職 の 状 況)	所有する当社の株式の数
2	おお うち きみ お 大 内 公 夫 (1967年7月1日生) 在任期間 12年（本総会終結時） 取締役会出席回数 17回／17回（100%）	1992年 4 月 当社入社 2006年 9 月 当社営業部大阪営業所長 2008年 4 月 (株)アイ・ディ・ユー取締役 2008年 6 月 当社取締役営業部長 2011年 4 月 (株)アイ・ディ・ユー代表取締役 (現在に至る) 2013年 4 月 当社常務取締役兼営業部・技術部・企画部担当 2013年 9 月 穂華（上海）貿易有限公司（現 迪凱凱（上海）材料貿易有限公司） 董事 2016年 4 月 当社常務取締役兼研究開発室長・知財管理室長、技術部・企画部担当 2017年 7 月 DKKロジスティクス(株)代表取締役 (現在に至る) 2018年 4 月 当社常務取締役兼研究開発室・知財管理室・技術部担当 2019年 4 月 当社常務取締役 技術本部担当 (現在に至る) (重要な兼職の状況) (株)アイ・ディ・ユー 代表取締役 DKKロジスティクス(株) 代表取締役 【取締役候補者とした理由】 同氏は、長年にわたり当社技術及び営業部門を経験、統括し、さらに国内外の関係会社の代表取締役、董事を兼任しており、業界における卓越した知識と経験を有しております。また、当社事業発展の柱となる研究開発、知的財産部門も担当し、当社グループ全般にわたって幅広い意思決定等の一翼を担えるところから、取締役候補者といいたしました。	62,001株

候補者 番 号	氏 名 (生 年 月 日)	略 歴、 当 社 に お け る 地 位、 担 当 (重 要 な 兼 職 の 状 況)	所有する当社 の株式の数
3	こく ぶ ひろし 國 部 洋 (1972年2月26日生) 在任期間 7年(本総会終結時) 取締役会出席回数 17回／17回(100%)	1995年4月 (株)三和銀行(現(株)三菱UFJ銀行) 入行 2004年10月 当社入社 2009年6月 当社営業部東京営業所長 2011年3月 当社資材部長 2013年6月 当社取締役資材部長 2016年4月 当社取締役営業部長兼資材部担当 2019年4月 当社取締役事業本部長 2020年4月 当社常務取締役事業本部長 (現在に至る) (重要な兼職の状況) 山東広垠迪凱凱新材料有限公司 副董事長 山東広垠迪凱凱環保科技有限公司 副董事長 迪凱凱(上海)材料貿易有限公司 董事長 (株)アイ・ディ・ユー 取締役 【取締役候補者とした理由】 同氏は、当社で営業及び調達業務等に携わり、当社製品の拡販や原料の安定・安価調達等を担ってまいりました。2013年6月からは当社取締役として海外からの主原料の安定調達、グローバルな事業展開にも尽力し、2020年4月からは会社経営の中枢を担う立場でガバナンス強化や各ステークホルダーとの関係強化も担うべく、常務取締役に就任しております。今後も同氏のこれまでの豊富な経験と実績を活かし、当社の経営理念を実現し、当社および当社グループを含めた持続的な企業価値の向上に貢献できると判断し、引続き取締役候補者といたしました。	78,567株

候補者 番 号	氏 名 (生 年 月 日)	略 歴、当 社 に お け る 地 位、担 当 (重 要 な 兼 職 の 状 況)	所有する当社 の 株 式 の 数
4	ほり うち てつ お 堀 内 哲 夫 (1946年1月5日生) 在任期間 8年（本総会終結時） 取締役会出席回数 17回／17回（100%）	1972年4月 日東電気工業(株)（現 日東電工(株)）入社 2001年6月 同社取締役 2008年4月 同社取締役兼常務執行役員、品質・環境・安全 統括部門長 2009年6月 日立マクセル(株)社外取締役 2011年4月 日立マクセルエナジー(株)社外取締役 2012年6月 当社社外取締役 (現在に至る) 【社外取締役候補者とした理由】 同氏は、日東電工(株)における事業部責任者等としての豊富な経験や品質・環境・安全の統括部門長としての知識、経験があり、さらには同社の取締役兼常務執行役員及び日立マクセル(株)等の社外取締役にも就任しており経営者としての豊富な経験と幅広い見識をも有しています。当社においては2012年の社外取締役に就任後、長年培われた豊富な経験と幅広い見識を活かし、業容の拡大、コーポレートガバナンス体制の強化をはじめとする当社グループ経営全般に関して取締役会等にて積極的なご意見・提言をいただいております。今後も同氏には、独立した客観的な立場から当社および当社グループ経営に対する的確な指導・助言や経営の監督を行っていただきたく、社外取締役候補者いたしました。	3,000株

候補者 番 号	氏 名 (生 年 月 日)	略 歴、 当 社 に お け る 地 位、 担 当 (重 要 な 兼 職 の 状 況)	所有する当社 の 株 式 の 数
5	おく むら あきら 奥 村 明 (1948年10月26日生) 在任期間 5 年 (本総会終結時) 取締役会出席回数 17回／17回 (100%)	1973年 4 月 バーディシェ染料化学品(株) (現BASFジャパン (株)) 入社 1998年 1 月 同社常務取締役 1999年 7 月 BASF INOAC ポリウレタン(株) 代表取締役社長 2011年 1 月 エヌ・イーケムキャット(株) 代表取締役社長 2012年 7 月 (株)INOAC コーポレーション参与 2015年 6 月 当社社外取締役 (現在に至る) 【社外取締役候補者とした理由】 同氏は、長年にわたりドイツに本社を置く総合化学会社BASF SEの日本法人である (現) BASFジャパン(株)に勤務され常務取 締役を歴任いたしました。その後はエヌ・イーケムキャット(株) 代表取締役社長を務める等、合併事業の実務のみならず経営に おける各種知見と経歴を有しております。当社においては 2015年の社外取締役に就任後、長年培われた豊富な経験と幅 広い見識を活かし、グループ事業運営、投資案件をはじめとす る当社グループ経営全般に関して取締役会等にて積極的なご意 見・提言をいただいております。今後も同氏には、独立した客 観的な立場から当社および当社グループ経営に対する的確な指 導・助言や経営の監督を行っていただきたく、引続き社外取締 役候補者いたしました。	4,600株

候補者 番 号	氏 名 (生 年 月 日)	略 歴、当 社 に お け る 地 位、担 当 (重 要 な 兼 職 の 状 況)	所有する当社 の株式の数
6	なが はら はじめ 永 原 肇 (1953年9月25日生) 在任期間 - 年 (本総会終結時) 取締役会出席回数 - 回 / - 回 (- %)	1978年4月 旭化成工業(株) (現 旭化成(株)) 入社 2003年10月 旭化成(株)グループフェロー 2006年4月 旭化成ケミカルズ(株)執行役員 研究開発管掌 2007年4月 同社取締役兼常務執行役員 研究開発管掌 2013年6月 旭化成(株)常勤監査役 2017年6月 同社顧問 (現在に至る) (重要な兼職の状況) 2015年4月 国立研究開発法人科学技術振興機構 CREST 領域アドバイザー 【社外取締役候補者とした理由】 同氏は、触媒化学、プロセス化学の専門家として長年、旭化成(株)の化学製品の技術開発、生産に携わったほか、触媒学会会長などの要職を歴任されました。また、化学全般に関する豊富な経験・知識と深い専門能力を活かし、複数の大学で教鞭をとるなど後進の指導にも尽力されました。2013年からは旭化成(株)の常勤監査役として会社経営にも携わり、技術、経営双方の経験・知識を基にした客観的見地からの助言等は、当社の事業競争力を高め、企業価値の向上に有用であると判断し、選任をお願いするものであります。	3,000株

- (注) 1. 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 所有する当社の株式の数には、役員持株会、従業員持株会における持分を含んでおりません。
3. 堀内哲夫氏、奥村明氏、永原肇氏は社外取締役候補者であります。堀内哲夫氏、奥村明氏は当社との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、500万円又は同法第425条第1項に定める最低責任限度額のいずれか高い額であります。堀内哲夫氏、奥村明氏らの再任が承認された場合は、同氏らとの間で当該契約を継続する予定であり、永原肇氏とも選任後、上記と同様の契約を締結する予定です。なお、当社は同氏らを東京証券取引所の定めに基づく独立役員として同取引所に届け出ており、永原肇氏の選任後、当該同様の届出を行う予定です。

【ご参考】選任後の取締役会の構成（予定）

	氏 名	当社における地位・担当及び重要な兼職の状況
再 任	いの うえ つよし 井 上 剛	代表取締役 社長執行役員
再 任	おお うち きみ お 大 内 公 夫	取締役 常務執行役員 技術本部担当 株式会社アイ・ディ・ユー 代表取締役 DKKロジスティクス株式会社 代表取締役
再 任	こく ぶ ひろし 國 部 洋	取締役 常務執行役員 事業本部長 山東広垠迪凱凱新材料有限公司 副董事長 山東広垠迪凱凱環保科技有限公司 副董事長 迪凱凱（上海）材料貿易有限公司 董事長 (株)アイ・ディ・ユー 取締役
再 任	ほり うち てつ お 堀 内 哲 夫	社外取締役 独立役員
再 任	おく むら あきら 奥 村 明	社外取締役 独立役員
新 任	なが はら はじめ 永 原 肇	社外取締役 独立役員

第3号議案 定款一部変更の件

1. 変更の理由

(1)取締役の任期の変更

事業環境の変化に機動的に対応できる経営体制の構築、および株主の皆様からの信任の機会を増やし取締役の経営責任を明らかにするため、現行定款第22条第1項（取締役の任期）に定める取締役の任期を2年から1年に短縮するものであります。

ただし、変更案第21条第1項につきましては、前号議案により選任される取締役から適用するものとします。

(2)補欠監査役に関する規定の新設

法令に定める監査役の員数を欠くこととなる場合に備え、補欠監査役に関する規定を新設し、補欠監査役の選任決議の有効期間を定めるものであります（現行定款第34条、第35条）。

(3)剰余金配当等の決定機関の変更

機動的な資本政策及び配当政策を図るため、会社法第459条第1項の規定に基づき、変更案第47条（剰余金の配当等の決定機関）、第48条（剰余金の配当の基準日）を新設いたします。それに伴い、同条の一部と内容が重複する現行定款第6条（自己の株式の取得）、第48条（期末配当金）および第49条（中間配当金）の定めを削除し、条数の調整を行います。

2. 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

(下線部分は変更箇所を示しております。)

現 行 定 款	変 更 案
第2章 株 式	第2章 株 式
(自己の株式の取得)	(削除)
第6条 当会社は、取締役会の決議によって市場取引等により自己の株式を取得することができる。	※ 以下、条数が一つずつ繰り上がります。
第4章 取締役および取締役会 (取締役の任期)	第4章 取締役および取締役会 (取締役の任期)
第22条 取締役の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会終結の時までとする。	第21条 取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会終結の時までとする。
2. (条文省略)	2. (条文省略)
第5章 監査役および監査役会 (監査役の選任)	第5章 監査役および監査役会 (監査役の選任)
第34条 監査役は、株主総会の決議によって選任する。	第33条 監査役は、株主総会の決議によって選任する。
2. 監査役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う。	2. 監査役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う。
(新設)	3. 当会社は、会社法第329条第3項の規定により、法令に定める監査役の数に欠けることになる場合に備えて、株主総会において補欠監査役を選任することができる。
(新設)	4. 前項の補欠監査役の選任に係る決議が効力を有する期間は、当該決議後最初に開催する定時株主総会の開始の時までとする。
第35条 監査役の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会終結の時までとする。	第34条 監査役の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会終結の時までとする。任期満了前に退任した監査役の補欠として選任された監査役の任期は、その前任者の残存期間と同一とする。
2.補欠として選任された監査役の任期は、退任した監査役の任期の終了する時までとする。	(削除)

現 行 定 款	変 更 案
第7章 計算 (期末配当金) 第48条 当社は、株主総会の決議によって、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し金銭による<u>剰余金の配当</u>（以下「<u>期末配当金</u>」という。）を支払う。 (中間配当金) 第49条 当社は、取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、<u>会社法第454条第5項に定める剰余金の配当</u>（以下「<u>中間配当金</u>」という。）をすることができる。 (以下省略)	第7章 計算 (剰余金の配当等の決定機関) 第47条 当社は、<u>剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に定める事項については、法令に別段の定めのある場合を除き、株主総会の決議によらず取締役会の決議によって定める。</u> (剰余金の配当の基準日) 第48条 当社の<u>期末配当の基準日は、毎年3月31日とする。</u> 2. <u>当社の中間配当の基準日は、毎年9月30日とする。</u> 3. <u>前2項のほか、基準日を定めて剰余金の配当をすることができる。</u> (以下省略)

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

監査役の員数が欠けた場合においても監査業務の継続性が維持することができるよう、補欠の監査役として水野貴雄氏を選任することをお願いするものであります。

なお、本決議は、水野貴雄氏の就任前に限り、監査役会の同意を得て行う取締役会の決議により取り消すことができるものとさせていただきます。

また、本議案に関しましてはあらかじめ監査役会の同意を得ております。

補欠の監査役候補者は次のとおりであります。

氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式の数
みずのたかお 水野貴雄 (1962年2月14日生)	1987年3月 当社入社 2012年4月 当社品質保証部長 2013年4月 当社総務部長 2019年4月 当社管理本部副本部長兼大阪事業所長 2020年4月 当社管理本部副本部長 (現在に至る)	22,100株
	【補欠監査役候補者とした理由】 同氏は入社以来、生産管理センター長、技術部次長等技術部門および品質保証部長、総務部長、管理本部副本部長、大阪事業所長という管理部門を経験しており、当社監査役の役割を担うにつき十分な知識と経験を有していると考えられるため、補欠監査役候補者としたしました。	

(注) 所有する当社の株式の数には、従業員持株会における持分を含んでおりません。

以上

(ご参考) 社外取締役及び社外監査役の選任基準「社外役員の独立性に関する基準」 1. ～ 3.

1. 当社取締役会は、会社法および会社法施行規則の定めによる社外取締役^{※1}または社外監査役^{※2}（以下、併せて「社外役員」という。）が以下のいずれにも該当しない場合、独立性を有すると認定する。
 - (1) 当社および当社の子会社（以下、併せて「当社グループ」という。）の業務執行者^{※3}
 - (2) 当社グループを主要な取引先とする者^{※4}またはその業務執行者
 - (3) 当社グループの主要な取引先^{※5}またはその業務執行者
 - (4) 当社の大株主（議決権総数の10%以上の議決権を直接または間接的に保有している者）またはその業務執行者
 - (5) 当社グループが大口出資者（議決権総数の10%以上の議決権を直接または間接的に保有している者）となっている者の業務執行者
 - (6) 当社グループから一定額（過去3年間の平均で年間1,000万円または当該組織の年間総費用の30%のいずれか大きい額）を超える寄付または助成を受けている組織の理事（業務執行に当たる者に限る。）その他の業務執行者
 - (7) 当社の資金調達において必要不可欠であり、代替性がない程度に依存している金融機関その他の大口債権者の業務執行者
 - (8) 当社グループから役員報酬以外に過去3年間の平均で年間1,000万円以上の金銭その他の財産上の利益を得ている弁護士、公認会計士または税理士その他のコンサルタント
 - (9) 当社またはその子会社の会計監査人または会計参与である公認会計士または監査法人の社員、パートナーまたは従業員
 - (10) 当社グループの業務執行者が現在または過去3年以内に他の会社において社外役員に就いているまたは就いていた場合における当該他の会社の業務執行者
 - (11) 過去10年間に於いて、上記（1）に該当していた者
 - (12) 過去3年間に於いて、上記（2）から（10）までに該当していた者
 - (13) 上記（1）から（12）までに該当する者のうち重要な業務執行者^{※6}の近親者等^{※7}
2. 独立役員であるというためには、当社の一般株主全体との間で上記（1）から（12）までで考慮されている事由以外の事情で恒常的に実質的な利益相反が生じるおそれのない人物であることを要する。
3. 独立役員を選任するに際しては、少なくとも独立取締役または独立監査役1名の推薦または同意を得ねばならない。

※1 社外取締役とは、会社法第2条第15号に定める社外取締役をいう。

※2 社外監査役とは、会社法第2条第16号に定める社外監査役をいう。

※3 業務執行者とは、会社法施行規則第2条第3項第6号に定める業務執行者をいう。

※4 当社グループを主要な取引先とする者とは、当該取引先の直近事業年度における年間連結総売上高の2%以上の支払を、当社グループから受けた者をいう。

※5 当社グループの主要な取引先とは、当社グループの直近事業年度における当該取引先への販売額が、当社グループの連結売上高の2%以上の者をいう。

※6 重要な業務執行者とは、業務執行者のうち、業務執行取締役及び部門責任者等の重要な業務を執行する者をいう。

※7 近親者等とは、2親等内の親族及び生計を一にする利害関係者をいう。

〈メ 毛 欄〉

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

〈メ 毛 欄〉

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

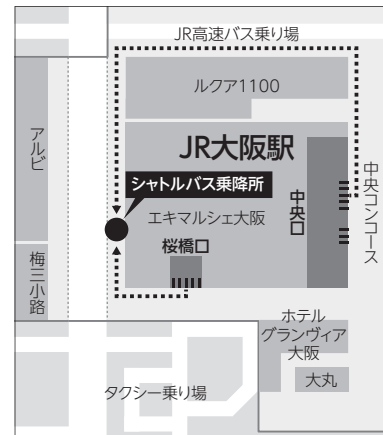
株主総会会場 ご案内図

会場 ウェスティンホテル大阪（4階 花梨の間）
大阪市北区大淀中1丁目1番20号
TEL 06-6440-1111



■ **無料シャトルバスのご案内**
総会当日午前9時台は、毎時約10分間隔で無料シャトルバスを運行しておりますのでご利用ください。約10分前後でホテル正面玄関へ到着いたします。

時	分					
9	0	10	20	30	40	50



交通のご案内 ※ホテル（会場）へのお車でのご来場は、ご遠慮ください。

- **JR線「大阪駅」**
中央北口（2階）から徒歩約7分
桜橋口西側高架下から無料シャトルバス運行
- **阪急線「大阪梅田駅」**
茶屋町口から徒歩約9分
- **地下鉄御堂筋線「梅田駅」**
5番出口から徒歩約9分
- **地下鉄四つ橋線「西梅田駅」**
から徒歩約9分